

家康公ゆかりの女性たち

おすすめスポット 静岡県 [中部] 編

家康公を愛した人の面影を訪ねて

MAP P16-17

【静岡市葵区】
23 江浄寺

22 宝台院

21 瑞龍寺

20 蓮永寺

19 華陽院

家康公とともに時代の波に
翻弄された様々な人生

二人の正室と十五人の側室が
いたとされる家康公。

16歳で正室として迎えたのは、今川義元の姪にあたる築山御前。1559年（永禄2年）に嫡男、信康公を生んだが、最後は疑いをかけられ浜松城へ戻る途中に殺されてしまう悲劇

の女性だ。

もう一人の正室は、浜松城から駿府城へ移った1586年（天正14年）に迎えた駿河御前（旭姫または朝日姫）。豊臣秀吉の妹で、家康公を懐柔するために、秀吉により佐治日向守と離縁させられ家康公へ嫁がされた。まさに戦乱の世ならではの婚姻だ。

二代將軍秀忠公の生母になる西郷の局（お愛の方）は、家康公とともに浜松城で戦の時代を乗り越え、駿府へ移って3年も経たないうちに38歳という短い生涯を終えた。

晩年の家康公に寵愛されたお万の方は、1602年（慶長7年）に紀伊徳川家初代藩主の頼宣公を、1603年（慶長8年）に水戸徳川家初代藩主の頼房公を生んだ。敬虔な日蓮宗の信者で、家康公が亡くなると、三日後には髪を下ろし「養珠院」と号した。



1



2

20 蓮永寺

敬虔な日蓮宗の信者であった、家康公の側室、養珠院（お万の方）が再興した寺。駿府城を守る鬼門として現在の位置に建てられた。

- ①仁王門：朱の門をくぐると大きなイチヨウの木がある。
- ②養珠院（お万の方）の供養塔：花崗岩（かこうがん）でできた塔。静岡市指定文化財。

静岡市葵区沓谷2-7-1
☎054-245-1536



静岡市葵区常盤町2丁目13-2 ☎054-252-1090
拝観時間／9:00～17:00 休日／土・日曜、祝日、年末年始、お盆
拝観料／大人200円

22 宝台院

秀忠公が、現在の地に大伽藍（だいがらん）を建て大法要を営み、寺名も金米山宝台院龍泉寺となった。
西郷の局（お愛の方）の墓：家康公の側室で二代將軍徳川秀忠公の生母である、西郷の局（お愛の方）が眠る。



1



2

21 瑞龍寺

家康公が住職を駿府城に集めて法門を開いたとされる駿河七ヶ寺の一つ。母が病氣ということで京都に戻ったまま聚楽第（じゅらくてい）で没した、家康公正室で秀吉の妹、旭姫の墓がある。
①瑞龍寺：門柱の右には泰山山、左には瑞龍寺とある。
②旭姫の墓：旭姫の法名「瑞龍寺殿光室総旭大禅定尼（ずいりゅうじでんこうしつそうぎょくだいぜんじょうに）」から寺の名前になった。

静岡市葵区井宮町48 ☎054-271-2634



1



2

19 華陽院

元の名は知源院といい、家康公が源応尼（げんおうに）の50回忌の法要をした際に、その法名から華陽院と改めたという。祖母、源応尼の墓と並んで家康公の娘、市姫や側室、お久の方の墓がある。
①源応尼の墓：源応尼（於富（おとみ）の方）は、人質時代の家康公を世話した母方の祖母。浜松で訃報を聞き、三河松（静岡の大火で焼失、現在の松は2代目）を墓所に植えることを頼み、その冥福を祈ったという。
②市姫の墓：1610年（慶長15年）に7歳で亡くなった家康公の娘の市姫は、源応尼の墓の隣りに祀られている。市姫ゆかりの屏風が残されている。

静岡市葵区鷹匠2-24-18
☎054-252-3673

23 江浄寺

家康公の嫡男、岡崎三郎信康公の遺髪を祀る御廟所（ごびようじょ）がある。東海道を往来する大名たちは行列を止め、必ずこの御廟に参ったという。

静岡市清水区江尻東三丁目6-6
☎054-366-5563



岡崎三郎信康公の墓



家康公苦渋の決断
家康公の嫡男、岡崎三郎信康公は、母である築山御前ともども武田家との内通を疑われて、死へ追いやられるという悲しい運命をたどった。自分と同盟を結んだ家康公に、織田信長が2人の殺害を命じたと言われている。築山御前は殺され、信康公は遠州二俣城内で自害する。背景には信康公の正室徳姫から送られた十二か条の訴状に内通の件などがあり、父である信長が激怒したからと伝えられている。